

IEC が OpenADR 規格を承認

公開仕様書 (PAS) の承認により、OpenADR は
完全な国際電気標準会議 (IEC) 標準規格の確立に向けて、さらに前進

カリフォルニア州モーガンヒル発、2014年2月25日: OpenADR アライアンスは本日、国際電気標準会議 (IEC) が、OpenADR 2.0b プロファイル規格を公開仕様書 (PAS) IEC/PAS 62746-10-1 として承認したことを発表しました。これにより、新たな IEC 標準規格の確立に向けて開発を推進する本規格の基盤が認定されたこととなります。この PAS に対する国際的なサポート水準の高さは、OpenADR スマートグリッド規格のグローバルな重要性を証明するものです。

「OpenADR 2.0 規格への国際的な関心とサポートの高まりが、本規格を IEC 国際標準として確立するプロセスを大きく前進させています。この PAS 承認によって、世界中の電力会社や政府は、それぞれが推進する AutoDR (自動デマンドレスポンス) プログラムに、OpenADR 規格を安心して採用していただけます。また、OpenADR 規格に対する強力な世界規模のサポートが得られるため、規格対応製品を開発する企業は、確実な展望の下で、ソリューションのグローバルな展開が可能になります」と、OpenADR アライアンスの代表責任者であるバリー・ハーザー氏は述べています。

IEC は、すべての電気・電子産業分野に対して、国際標準規格の準備と認定を行う国際機関です。IEC PC 118 およびスマートグリッドに関する IEC システム検討グループの会長を務めるリチャード・ジョンバーグ氏は、「OpenADR アライアンスは、TC 57、PC 118、TC 65 といった IEC の各委員会と協働しています。この OpenADR の PAS は、本規格に関心を寄せるさまざまな技術委員会や作業部会とともに推進する OpenADR 2.0b プロファイル規格の IEC 標準化プロセスに、大きく寄与するものです」と、語っています。

OpenADR に関する追加情報

[OpenADR 2.0a](#) プロファイル規格は、2012年8月にリリースされ、商業、産業、および居住環境に設置された最も簡便な機器をサポートすることにより、デマンドレスポンス状況への参加を完全に自動化し、広範囲にわたって実現します。[OpenADR 2.0b](#) プロファイル規格は、より洗練された機器向けに設計され、デマンドレスポンスのほとんどのサービスと市場に対応します。これには、過去、現在、将来のデータ報告書をすべて作成できる柔軟なレポート能力

も含まれています。

PAS に関する追加情報

PAS は、企業や組織が、有効な PAS 提案者であることを認定するために必要となる ISO/IEC 移行手続きの一つです。提案者は、規格仕様をメンバー国の投票に直接送付することができ、(過半数の賛成を得ることにより) ISO または IEC 国際規格として発行されます。規格仕様の提出の目標は、市場分裂の防止、導入や配備の改善、政府調達促進に貢献することはもちろん、同時に、安定性の創出と広範な普及にも資することにあります。PAS は、完全な国際標準の確立に向けて、現在進められている開発作業に時間を提供する一方で、IEC の認定を提供するものです。この開発期間は通常、完了までに約 3 年を要します。

OpenADR アライアンスについて

OpenADR アライアンスは、協働、啓発、トレーニング、試験、認証を通して、オープンな自動デマンドレスポンス (OpenADR) 規格の開発、採用、準拠を促進しています。OpenADR アライアンスは、価格および信頼性に基づくデマンドレスポンスに対する OpenADR 規格の加速的な普及を目指す、あらゆる関連ステークホルダーの皆様に対して開かれています。詳細は、

<http://www.openadr.org/> をご覧ください。

###

問い合わせ先:

シャノン・メイエット (Shannon Mayette)

OpenADR アライアンス

電話 : 602.882.4733

電子メール : Shannon@openadr.org